



新年を迎え、今年度も残り少なくなりました。年度末に向け、皆さん忙しくされていることと思います。寒暖の差が激しい日も多いので、お体にはどうぞご自愛ください。今年も臨床シミュレーションセンターをどうぞ宜しくお願い致します。

第10回日本医学シミュレーション学会学術集会参加／岡山大学「MUSCAT CUBE」見学レポート

1月11・12日に京都で開催されたシミュレーション学会へ参加した後、その足で岡山大学にあるシミュレーションセンター「MUSCAT CUBE」を見学させて頂きました！最速レポート、どうぞお楽しみください！

第10回日本医学シミュレーション学会学術集会

1月11・12日の二日間にわたり、京都二条にある京都府医師会館にて開催されたシミュレーション学会。全国さまざまな医療機関から多くの方が参加されていました。本学からは、救急科の藤田智先生、麻酔科蘇生科の鈴木昭広先生・黒澤温先生らがお出席され、臨床シミュレーションセンター事務の渡邊も参加させて頂きました。

1日目は主にハンズオンセミナーが開かれており、超音波エコー機器の基本操作を学べる「ABCD Snography」や、気道管理トレーナーを使った「DAM 実践セミナー」、その他「CVC 実践セミナー」や「SED 実践セミナー」などが各ブースで行われていました。特に「ABCD Snography」のセミナーでは、エコー機器操作の基礎の基礎から説明があり、素人にもとても分かりやすく、勉強になりました。

午後からは様々なシミュレータを作成している京都科学さんの京都本社での工場見学があり、シミュレータの歴史を知ることができるコーナーや、実際に作成されている作業場、最新のシミュレータも陳列された展示室など、色々な場所に案内して頂きました。普段使っているシミュレータが職人さんたちによってどのように作られているのか、そこにはどんな苦勞があるのかが知れ、シミュレータがいかに素晴らしいものであるかということに改めて気づかされました。

2日目は座学のセミナーが一日にわたって開催され、遠隔医療の現状やこれからの展望、様々な研究報告、医療と報道をテーマにした講演など、多種多様な発表が続きました。質疑応答やディスカッションも活発に行われ、活気のあるセミナーとなっていました。

別室では各社のシミュレータの展示や、ハッ橋などの京菓子を堪能できる歓談コーナーも設けられており、多くの方が話に花を咲かせていました。

二日間にわたり、とても濃密な時間を過ごすことができ、貴重な経験となりました。次回は来年1月に東京での開催を予定されているということです。ですので、また是非参加させて頂きたいと思いました。



とても勉強になりました！



JR二条駅すぐにある京都府医師会館。歩いて行ける距離に二条城もあります。



京都科学本社。残念ながら館内は撮影NG。

岡山大学 地域医療人育成センター おかやま「MUSCAT CUBE」

地域医療人育成センターおかやま「MUSCAT CUBE」は、岡山県の地域医療再生計画の一環として、約1年前に岡山大学鹿田キャンパス内に新設された教育施設です。3階建てになっており、各種シミュレータが配置された実習室やカンファレンスルーム、講義室などが設けられています。こちらでは、患者を総合的に診療のできる「総合診療」の知識と技術を持つ医師を育成するためのシミュレーション教育のプログラム開発・実践・研究を行っているそうです。また、医療者だけではなく広く一般向けに健康に関するセミナーや子育て・介護に関する講演会などを行い、地域の方々の健やかな暮らしを支える情報発信の場でもあり、外との繋がりも積極的に持たれています。そのため、平日だけでなく土日祝日まで予約で埋まっているそうで、とても活気に溢れた施設となっています。

「MUSCAT CUBE」のプログラムディレクターでもいらっしゃる万代康弘先生から、施設の説明や様々な取り組み、実績などをお話し頂きました。積極的にシミュレーション教育のプログラムを開発されていたり、どのようにして外と繋がっていかけているのかなど、ためになるお話をたくさん頂きました。また、施設の利用にお



歯科のシミュレータもあります。



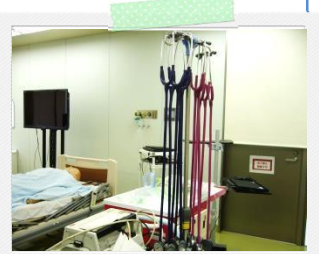
大きくてキレイなキューブ形の施設です。上の方はガラス張りになっています。

ける問題点の改善策など、本学の臨床シミュレーションセンターを運営していく上でとても参考になるお話も聞くことができました。

説明を頂いた後は施設内を見学させて頂きました。主にシミュレータが置かれている部屋を拝見させて頂きましたが、一部屋にシミュレータが複数ある場合はパーテーションで区切るなど、利用者が使いやすい工夫が随所に施されており、とても参考になりました。煩雑になりやすいコード類も整理され、何処もすっきりとした部屋になっていました。

本学のシミュレーションセンターにも活かせる工夫をたくさん見ることができたのは、とても貴重な体験となりました。それらを参考に、当センターももっと多くの方に利用頂けるよう、様々な挑戦をしていきたいと思っております。

なお、「MUSCAT CUBE」のパンフレットはパソコン・アシストラボ内のマガジンラックにも置いてありますので、興味を持たれた方はどうぞご覧下さい！



整然としたキレイな室内！



マスコットキャラクターのネコちゃんも、建物内にもちらほらネコモカーフがとてモカいらしいですよ！

セミナーのお知らせ

シミュレーションセンターで近日開催を予定しているセミナーのお知らせです。

* 詳細につきましては、救急科 松坂先生までお問い合わせください。

1月22日(木)	第36回研修向け勉強会「電解質異常の基礎知識」～低Naを中心に
1月27日(火)	第12回救急Round「腎不全」
	PGY1 土田 美結 先生
	PGY2 高取 清香 先生
	Attending 松坂 俊 先生
2月3日(火)	第15回救急Round「麻痺、感覚障害」
	PGY1 竹口 史織 先生
	PGY2 豊島 更紗 先生
	Attending 松坂 俊 先生



使用簿への記入をお願いします！

ラボを使用した際は、必ず**使用簿への記入**をお願い致します。

特に**予約をしないで使用した場合は忘れずにご記入**願います。

当センターではラボの使用率などを計上しています。そのためにも必要になることですので、ご協力をお願い致します。



来年度の年度予約の受付を開始します

平成27年度の年度予約(1年単位の予約)の受付を開始しています。次年度の予定が立ちましたらいつでもご連絡下さい。(電話連絡・メールどちらでも構いません。)

予約は先着順に優先されるわけではありません。被る場合は相談・調整させて頂きますので、ご了承願います。

今まで当センターを利用していなかった部署からの予約も大歓迎です。どのような部屋でどのようなシミュレータがあるのか知りたい方は、是非一度見学にお越しください。

次年度の随時予約(1回単位の予約)も引き続き受け付けております。こちらも年度予約と被るところがありましたら調整させて頂きます。

各申込書はCSCホームページ、または受付にありますのでご利用ください。

【CSC HP】

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/simu/AMUSIMU/index.html>



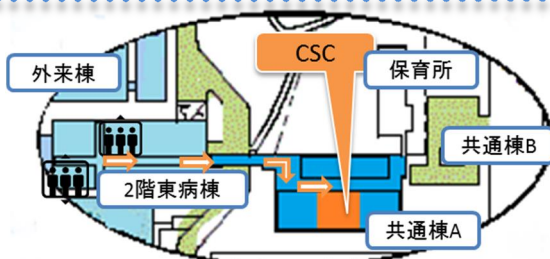
⚠️ CSCの利用について

当センター利用後、以下のような問題が続発しています。

- ・採血シミュレータに針を刺したまま放置、あるいは注射針をキャップなしで机の上に放置している。(非常に危険です!)
- ・飲食した跡が残っており、そのゴミを放置あるいは机や床を汚したままにしている。(センター内は原則飲食禁止となっています!)
- ・ゴミの分別がされていない。(ゴミ箱の掲示をよく見てから捨ててください!)
- ・パソコンを繋いだコードを解いたまま、机やイスも使ったまままで元に戻していない。(ラボ使用後はもとの状態に戻してください!)
- ・PCラボ内のMacPC内に、医療とは無関係の個人的なファイルが保存されている。(多くの方が利用するものなので、個人ファイルの保存はご遠慮ください!)
- ・電気・機器・暖房の電源が入りっぱなしになっている。(必ず電源を落としてください!)

※PCラボの暖房は、冬期間中は20℃～22℃設定でつけたままにしておいてください。温度を上げた場合は上記設定温度に下げてから退出願います。

ラボ内には注意書きの掲示もしております。一人一人が責任を持ってご利用いただけますようお願い致します。



【お問合せ先】

旭川医科大学 臨床シミュレーションセンター

連絡先：内線:2860 / PHS:7580

E-mail: skillslab@asahikawa-med.ac.jp

スタッフ：渡邊(平日 8:30～15:30)

藤巻(平日 15:30～17:15)

お気軽にご連絡下さい！

